

横内謙介芸術監督 インタビュー



平成23年4月より(財)厚木市文化振興財団に芸術監督をお迎えすることになりました。初代芸術監督にはあつぎ文化芸術特別大使であり、これまでも厚木シアタープロジェクトなどで活躍していただいている横内謙介さんが就任いたしました。そこで、横内謙介さんにこれからの抱負などをお伺いいたしました。

Stuff 芸術監督とはどのような仕事だとお考えですか？

横内 図書館、博物館など文化施設と呼ばれる公立の建物がありますね。博物館にはそのための勉強をして資格を持った人が必ずいます。しかしながら日本では、劇場という場所を深く理解し運営している専門家がなくていいという暗黙の了解のもとに今まで運営されてきました。特に地方の公共劇場にはそういう傾向があったと思います。劇場は市や県の持ち物なので、公務員の方が劇場で働きます。しかし、その方たち全員が音楽や演劇が好きというわけではありません。橋や公共の建物を管理するのと同じ感覚で運営することがなんとなく通例になっていたんです。

博物館や図書館には学芸員や司書のような専門家がいますが、劇場には劇場の専門家がいないべきであると思われ、世の中もだんだんそんな風潮になってきました。

芸術監督とは、なによりもまず深く劇場を理解し、芸術が果たす役割を、より効率よく、そして質が高いものを観客の皆さんへ提供するために目を配らせる人。そして劇場の楽しみを知らない人たちに来てもらえるよう仕向けてゆく人。そのリーダーになる人と理解しています。

S 専門家として何をしたいですか？

横内 まずは三つ大きな仕事を考えています。

一つは、すばらしい舞台を作っていくこと。僕自身が劇作家・演出家をやっていますから、自分の仕事としてしっかり作品を作っていきます。今まで扉座で公演をしてきましたが、その枠を飛び越えて、(財)厚木市文化振興財団のプロデュースで舞台を作っていく。しかも傑作と呼ばれるものを作っていく。それが一つ。

それからもう一つは、ここで働く人たちに、この場所を貸すためにだけではなく、モノを生み出す場所にするためのスタッフとして働いてもらうこと。ここで働く人が劇場人になっていくこと。このことは頑張って実現していきたい。

それともう一つは人材、才能をここで発掘し育成していくこと。それは今いるスタッフではなく、むしろ子どもたちということになるかもしれません。劇場が演劇や音楽などの芸術を愛する人を育てる場所であると同時に、やがて芸術を担っていく一流の表現者を育てる場所でもあります。そういう才能を発見し、育成していかなくてはならない。その才能は、今の時代でいえば、日本のみならず、世界で活躍できるような人をここから育てていく。そのために、『あつぎ舞台アカデミー』をやりたいと思っています。

S 厚木というまちから全国に芸術を発信できるきっかけになればいいですね。

横内 そうだね。もちろん、劇場が地域のための寄り合いの場所であっても欲しいし、いこいの広場であっても欲しい。ただ一方で、劇場のつながりを考えてみると、実は全世界につながっている。世界で一流のアーティストたちは全ての劇場が自分の劇場だと思っている。厚木の劇場ももちろんその一つです。その感覚はどこで生まれたのかというと、劇場で生まれているんです。劇場で生まれた人たちが全世界に飛び立っていく。

例えばサッカーチームを思い浮かべてみてください。鹿島でボールを蹴りだした少年が、イタリアやイギリスで世界的プレイヤーになる。サッカーの競技場があって、サッカーチームがあるのと同じように、厚木にはこんな立派な劇場があって、アーティストがいる。今の場所で関わってくれるアーティストを増やしていこうと思っています。ここで初めて一流のアーティストの音楽に触れた子どもたちが、大人になってから、突然才能を光らせて世界的なアーティストになることは劇場がある限り決して絵空事ではありません。

S 横内さんは「リバーソング」やあつぎ舞台アカデミーで子どもたちを始めとして演劇に積極的に参加する人たち、接する人たちを見ていて、演劇や創造に対する意欲はどう思われますか？

横内 特に子どもたちに大きな希望を持っています。芸能に対する気持ちがあっても、厚木ではちょっと都心から離れているから本

格的に踏み込むための状況が整っていない。だけど持っている潜在能力はとてつもない、意識も高い、という才能の卵たちに今実際に会っています。

ここからスターや世界的アーティストが生まれる可能性が十分にあると感じています。もちろん皆をプロにするためにだけではなく、演劇やそういうパフォーマンスを体験することで、将来社会人として立派になってほしいと思ってやっていることでもありますが。

S 厚木シアタープロジェクトを継続して実施していますがこの活動についてエピソードがあれば…。

横内 この活動は全国でも珍しいことではないかと思っています。劇場という場所には劇団や、歌劇団、ダンス舞踊団がいることが欧米では常識らしいんですね。芸術監督もいるし、アーティストたちも常駐している。そこで生まれた作品が全世界を旅しているなんていうことは20年くらい前から日本でも紹介されているんです。

実は、シアタープロジェクトの活動を始める前、公共ホールは21時完全締め出し規則があったりして、演劇興行をする場所ではないというイメージがありました。十数年前にたまたまきっかけが生まれ厚木に来てみたら、市民の方が応援してくれて。今では厚木に縁もない劇団員までが第二の故郷だと認識するまでになりました。また、扉座を継続して見てくれるお客さんも、厚木が一番多いような気がします。

ヨーロッパ等では、一つの町が劇団の面倒をみたり、歌劇団があることが自分たちの町の誇りなんだということがありますが、僕らはそこまで手柄を立ててはいないけれど、実現できてしまった。そしてそういう絆があったからこそ今回芸術監督をやってみようという気持ちになったのだと思います。

S 最後にメッセージをお願いします。

横内 いろいろ変えていこうと思っています。変えていくに当たって、僕一人では目の届かないいろいろな面白いものがあると思っていますので、是非、文化会館でこういうことをしてほしい、こういうものをやってほしい、こういうのを生み出してほしい、こんな活動を期待する等のメッセージ、御意見、御批判等をどしどしお寄せいただきたいと思います。



横内謙介プロフィール
劇作家 演出家 扉座主宰 あつぎ文化芸術特別大使
厚木高校在学中に演劇と出会い、処女作『山椒魚だぞ!』で演劇コンクールに優秀賞を受賞。82年、扉座の前身「善人会議」を旗揚げ。活動は劇団だけでなく、市川猿之助率いるスーパー歌舞伎や、蛭川幸雄演出のミュージカル、V6など幅広く作品を提供する。92年、岸田國士戯曲賞、99年には大谷賞を史上最年少で受賞。2011年4月(財)厚木市文化振興財団の芸術監督に就任。

厚木シアタープロジェクト 第23回公演 劇団扉座公演

アトムへの伝言

- 作・演出 横内謙介
- 出演 岡森 諒 六角精児 中原三千代 有馬自由 伴美奈子 山中崇史 犬飼淳治 高橋麻理 鈴木利典 岩本達郎 高木トモユキ 江原由夏 新原 武 江花実里 吉田有希 松本 亮 客演/野口かおる(双数姉妹) アマンダ(浅井企画)

あらすじ

天才・柳博士率いる森の里科学研究所は、世界初のコメディアン・ヒューマノイドの開発に成功!その名は「カッパ」。

世界に笑いをもたらす為、華々しく誕生したカッパだが、科学者たちはお笑いを知らない。そこで、伝説の漫才師「海老乃家ラッパ」のもとへ、カッパともども弟子入りすることになる。

しかしカッパには重大な欠点があることが判明する。はたしてカッパの運命は…。



前回の公演より(撮影:宮内勝)

6/11(土) 18:00
6/12(日) 14:00

小ホール

前売 4,200円 (全席指定)
当日 4,500円
学生 3,000円 (小学生証提示)

※学生席は文化会館窓口のみの取り扱い

好評発売中

チケット 文 ミ ひ 口 ほか

若者応援シート 1,500円
(各公演50席限定・予約制)

少しでも多くの若者に演劇に触れてもらいたいという願いを込め、生の舞台を観たことのない多くの若者のために、特別割引の若者応援シートを用意しています。学生証を提示していただければOKです。小学生の場合は学校と学年を伝えてください。ただし、予約制で席数が限られています。詳細は文化会館までお問い合わせください。

義援金にご協力いただきましたみなさまへ

5月8日に厚木市文化会館大ホールにて開催しました「厚木ジャズ祭2011」にて東日本大震災で被災された方々への義援金を募るため、募金箱を設置させていただきました。たくさんの方々のご協力により33,956円の義援金が集まりましたのでご報告申し上げます。なお、皆様からお預かりした義援金は厚木市を通じて、日本赤十字社にお届けいたしました。皆様の温かいご支援ご協力ありがとうございました。

(財)厚木市文化振興財団・厚木ジャズ祭実行委員会

シルバーチケットによる助成のご案内

65才以上の厚木市民の方に厚木市が発行しているシルバーチケットが4月1日から文化会館自主事業のチケット(3,000円以上)の購入にもご利用いただけるようになりました。

- ▶対象: 厚木市内に住所を有する満65才以上の方
- ▶助成内容: 3,000円以上の厚木市文化会館自主事業のチケット代から1,000円助成年3回まで※文化会館窓口にてシルバーチケットを持参の上、購入(本人使用の場合に限る)。
- ▶利用期間: 平成23年4月1日~平成24年3月31日

- シルバーチケットの発行方法 厚木市役所高齢福祉課(本庁舎2階11番)または、各地区公民館(平日のみ)にて発行を行います。
- シルバーチケットの発行に関するお問い合わせ 厚木市役所高齢福祉課 高齢ふれあい係 ☎046-225-2224
- シルバーチケット対象公演(5月16日現在) 6月11・12日 厚木シアタープロジェクト第23回公演「アトムへの伝言」 7月23日 第13回あつぎ寄席「春夏秋冬」林家たい平わくわく落語会(6/4発売) 10月2日 第14回あつぎ寄席「春夏秋冬」精選・落語鑑賞会(7/23発売) 11月19日 小山実稚恵 華麗なるシヨパンの世界(6/19発売)

今井ゆうぞう×はいだしょうこ ファンタジー・コンサート

9/10(土)

① 13:00
② 15:30 大ホール

3,000円(全席指定)

※1才以上有料。

6/25(土) 発売開始

文=窓(9:00~)

☎(10:00~)

チケット 文 ほか

※発売初日は1人8枚まで



今井ゆうぞう



はいだしょうこ

電話予約・お問い合わせ

t v k チケットカウンター ☎045-663-9999

厚木市文化会館チケット予約センター ☎046-224-9999

世界の子どもたちの絵が
厚木に集合!



過去の入賞作品より

第16回 カナガワビエンナーレ 国際児童画展 厚木巡回展

初開催

入場自由

- ▶期間 9月23日(金・祝)~29日(木) 10:00~17:00 ※休館日: 9月26日(月)、27日(火)
- ▶会場 展示室(地下2階)